

減量手術を考慮しておられる患者さんへ

減量手術は「楽をして痩せるための治療」ではありませんし、また、美容のための手術でもありません。減量手術は、食事療法や運動療法など他の肥満治療の一つであることを認識してください。

しかし、いろいろな治療を頑張って受けてきたが、リバウンドしてしまう、長年にわたり痩せ続けることができないという方には、非常によい適応であり、満足な効果を獲得していただけると考えています。

そのためには、手術をやりっぱなしではいけません。術後、しっかり食事・運動療法を守ることが大切です。術後の外来通院や栄養・運動療法が守れない方は、術後のリバウンドが大きくなったり、健康障害が増悪する可能性があります。もちろん、そうならないように、意思のある方には、専門チームが精一杯サポートさせていただきます。

一緒に頑張りましょう！

傷の小さな術後の痛みの少ない手術

- 傷が小さい手術です(最大 1.5cm 程度)。
- 痛みの少ない手術です(ブロック注射、痛み止めの持続注射と 2 種類の内服薬を併用。術後 2 週間目に内服痛み止めが必要な割合は 2% 以下です)
- 手術翌日には歩行が可能です。
- 飲水量が十分(1 日 1.5L 以上)摂取できれば、退院可能です。通常術後 1 週間から 10 日間の入院です。
- 日本製の最新の内視鏡システムとハイビジョンモニターを使用しています
- 腹腔鏡手術のため、傷の感染やヘルニアは開腹手術に比べて少なくなっています。